

ごあいさつ

足守5地区愛育委員会代表 西山 きよ子

足守地区の愛育委員会は昭和26年に発足し、今年度満55年を迎えることが出来ました。これはひとえに関係各位の皆様方のご理解とご協力によるものとお礼申し上げます。またこの長い歳月にさまざまなご苦勞をなさりながら愛育委員会を築き上げて下さいました諸先輩の皆様、各委員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

平成18年が55年にあたるので記念誌を出してみてもいいかなという声を掛けていただき、幹事会で検討したところ、今までの振り返りとして、また活動を見直す機会にもしたいという思いでとりかかるとにしました。皆が経験の無いことで、手探りで各地区の会長経験者を初め、日頃お世話になっている方々に原稿をお願いしたところ、快く寄せていただきました。私たちに大きな力を頂きまして、たいへん嬉しく心強く感じております。先に愛育委員をされた方々から、今の委員へのバトンタッチを言葉の上でも頂き、身の引き締まる思いがいたします。これからの活動が、少しでも地域の健康づくりにお役に立てるように、委員一同がんばっていきたいと思います。

発足当初は子供の数が多く、健診の手伝いが大変忙しかった様子が多くの方々のお話にありました。時代と共に少子高齢の社会になり、更に子供の数が減少し、高齢者の比率が増し、超高齢社会へと向かおうとしています。私たち愛育委員の役割も、子供たちを育むと共に高齢者が健康に過ごすためのお手伝いの比率が高くなってきています。家の中に閉じこもらず、外の空気を吸い、地面を歩き、親しい人と会話を交わしながら自ら健康に過ごせるようにしていくことが大事です。一人でも多くの人に話しかけ、また聞き役になることも大事なことです。

この冊子が地域の健康づくりのお手伝いなど今後の愛育活動に役立つことを願って、発刊のことばとさせていただきます。



お祝いの言葉

55周年記念を祝して

社会福祉法人総社福社会 理事長 川田 敏幸

足守地区愛育委員会の創立 55 周年を心よりお慶び申し上げます。

足守地区は、自然と歴史の豊かなところで、足守川に沿って集落が広がり、夏は緑の稲が涼しげに風に揺れ、秋にはたわわに実った様子が見られ、人の心を和ませてくれます。

しかし近年、真新しい家も次々と建ち、他地区からの移住者も多くなり、核家族の家庭も増えてきています。昔のように隣近所で声を掛け合い、悪ければよその子も叱れる。こんな光景は失われつつありますが、幸いなことに足守地区はまだ残っていると思われまます。そして実際に、そのような時こそ伝統ある愛育委員の方が地域のみなさんの健康管理に、子育てに、親育てにと幅広くご尽力されていますことを感謝致しております。

私も、昭和 45 年に総社市にすみれ保育園を創設、そして足守に今は第二すみれ保育園と名称を変えましたが岡山市北保育園を創設し 31 年になり、平成 17 年 4 月からは、総社市で初めての公設民営の中央保育所も運営してまいりました。いずれの保育園も地域との交流を深める為の子育て支援センターを開設しております。第二すみれ保育園においては始めて 10 年になります。未来の足守を支える子どもたちを育てるという思いひとすじにやってきましたが、この思いは愛育委員の皆様と同じであろうと、支援センター発足と同時に愛育委員さんの会合に出席させていただくようになりました。年間行事の一つに入れてもらい、支援センターの日何人かの委員さんをご招待して、お餅つき、歯磨き指導、とんど焼きなど時期にあった行事に参加していただいていたのですが、昨年より、今まではご招待であったものが参加型となり、うちわシアターや、お母さんと一緒にお手玉作りをするなど知識や技術をいただきながら顔見知りになり何でも聞いてみようという雰囲気になりつつあり嬉しく思っているところです。また、保育園の子育て支援センターも年 1 回報告会をしておりますがこれにも出席いただいております。

このように、いろいろな面で気持ちよくご協力いただき日々感謝いたしております。今後も未来を担う子どもたちのために保育園としても尽力してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいいたします。最後になりましたが、足守地区愛育委員会の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



愛育委員さんの協力で実現した『かしおの集い』

元県立かしお園々長 鷹取 弘子

足守に岡山空港が完成し、瀬戸大橋が開通した年から、県立の軽費老人ホーム『かしお園』は『地域の人々にも利用して頂ける施設』への転換をはかり、足守地域の福祉の発展に寄与したいとの願いを抱いて施設の開放を模索しておりました。



そして、その願いを実現するために、最も力になって下さったのが足守地区の愛育委員会の皆さんでした。当時の足守地区の愛育委員会の会長さんをはじめ役員の皆さんは「それは良いことだ、協力しよう」と、かしお園の、めざすものに早速賛成して下さい、地域の人々と、施設入居者との交流の促進に大活躍して下さいました。愛育委員会、町内会、老人クラブ、婦人会、民生委員等地区組織の皆さんのご理解とご協力のお陰で『かしおの集い』は誕生し、かしお園と地域の人々との交流はスタートしました。

月一回かしお園に地域の高齢者をお招きして、かしお園の入居者と交流しながらの健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりをめざして毎回知恵を絞って多彩なプログラムを準備しました。

1. 健康相談；健康についての学習
2. 趣味；編み物、小袋作り、竹細工、藁細工、カラオケ、ダンス
3. オシャベリ
4. 入浴；園の温泉施設利用
5. 昼食サービス；園の給食施設利用

などなど、また毎回スナップ写真を飾り、楽しかった思い出をお互いに語り合い、次回の集いへの期待につなげていきました。かしお園の桜の下でのお花見やバーベキュー大会、夏祭り、カラオケ大会、ボランティアさんによる壮大な太鼓の披露など、楽しいイベントも繰り広げられました。かしおの集いの朝「今日はこれで歌うからよろしく」とカセットテープを受け付けに預けて、いそいそと会場に急ぐ馴染みのKさん。「これがあるからひと月また頑張れる」と口々に喜んでくれる一人暮らしの高齢者の声。庭木の剪定をし、朝早くからお客様を待つかしお園のおとしより。活気に満ちていた『かしおの集い』が鮮やかに思い出されます。

足守地区の愛育委員の皆さんの、当日のいそいそとした、行き届いたお世話と優しさがとても嬉しく、いまもなつかしく思い出され、感謝の念に満ちています。

現在『かしおの集い』は思いでのなかで、生き生きとしていて、その後誕生した多くの老人福祉施設のデイケアとだぶっています。

記念誌発行に際しての“思い出”

前憩いの丘施設長 渡邊 憲之

岡山市足守愛育委員会（5地区愛育委員会）は昭和26年に設立され、55有余年の歴史と伝統ある活動と実績は、隆盛の域に達していると言っても過言ではありません。

5地区愛育委員会長様の統率と指導は、各愛育委員相互の連携を密に、事業目的の完遂に向けて諸分野で活動を展開されました。また、全委員が組織を挙げ研究と研修等に取り組み資質向上が図られ、今日の重厚な事業活動の原動力ともなっています。

足守地区における人口減少、少子化、超高齢社会の到来等の課題が山積する中で、各会長様が率先してのご尽力は、地区の児童施設、老人福祉施設等に対する奉仕活動にも着手、各地区に根ざした健康と福祉の増進、公衆衛生、環境衛生等における活動により目覚ましい成果を上げられました。衷心より深謝を申し上げます。開設から今日までの55年間（ゴーゴー、前進のみ）、5地区愛育委員会長様のご苦勞が絶えない毎日での貴重な経験と実績の積み重ねが、地区発展の礎となり前途洋洋、地区住民からも大きな期待が寄せられております。

末筆となりましたが、素晴らしい『記念誌』の発刊を心待ちに、岡山市足守愛育委員会（5地区愛育委員会）会長様をはじめ、委員皆様のご健勝とご活躍、貴会の更なるご発展を祈念申し上げ、拙文を終わります。



憩いの丘全景（『憩いの丘10周年記念誌（S57発刊）』より）

足守地区愛育委員会 55周年に寄せて

岡山市足守支所長 三宅 完司

足守5地区愛育委員会創立55周年を心からお祝い申し上げます。

足守5地区愛育委員会の皆様におかれましては、平素から足守中学校区住民の健康と福祉に関したいろいろな問題に取り組み、健康で豊かなまちづくりを目指し、積極的な活動を展開しておられることであり、皆様の熱意とご尽力に深く感謝し敬意を表する次第であります。

戦後新たに豊かな社会への復活をめざした昭和26年に発足され、55年の長きにわたりましての地域活動に取り組んでこられました皆様方のご苦勞にたいしまして、改めて感謝申し上げます。

本市におきましても、地域社会の安全・安心ネットワーク活動として子供からお年寄りまで全ての方々が地域と一体となった、支え合う地域福祉・地域での健康づくりなどに取り組んでおります。

こうした中での足守5地区愛育委員会は、本市との一体的な役割として重要な組織であると認識しております。

今後ますます大きな役割をはたされ、足守地区のさらなる進展に寄与していただけるものと期待しております。

終わりに、足守5地区愛育委員会の一層のご発展と委員の方々、関係者皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶といたします。

岡山市立足守公民館長 大家 一朗

発足55周年を迎えられ、誠におめでとうございます。貴愛育委員会がスタートした昭和26年は、私が小学校に入学した年であり、記憶に深く残っています。

当時からの母子保健を中心とした活動に、成人・老人保健事業などが加わっての、幅広い献身的な取り組みに対して、心から敬意を表します。

これからも、健康で豊かなまちづくりのために、一層の活躍を期待申し上げますとともに、ますますの発展をお祈り申し上げます。

岡山市福祉交流プラザ大井館長 尾崎 達

健康で豊かな生活をめざして、日々地道な活動をしている足守5地区の愛育委員会が、半世紀もの長きにわたり、地域の保健健康増進に数多くの実績を積み重ねたこと、心より敬意を表します。少子高齢化が問題になっている現在、愛育委員さんたちのご活躍は、今後ますます重要になってきています。委員会のさらなるご発展をお祈りいたしますとともに、委員さんもお自愛くださいますようお願いしまして、御祝辞とさせていただきます。

岡山市大井児童館 児童厚生員 槇尾 真佐枝

足守地区愛育委員会発足 55 周年並びに記念誌発刊、誠におめでとうございます。

大井児童館では、毎年 5 月末に実施しております『歯みがき指導』をはじめ、日頃から愛育委員の方々に大変お世話になっております。『歯みがき指導』の際には手作りのペープサートやパネルシアターなど、心のこもった作品を子どもたちに披露していただくなど、いつも子どもたちのために惜しみないボランティア精神を注がれる皆様方に対し、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

また、育児相談や託児などでご活躍されるお姿も身近で拝見させていただき、その温かい眼差しが、子どものみならずお母さん方までも優しく包み込んでくださっていると感じております。子育てが難しくなったと言われるこの時代に愛育委員の方々の存在はますます重要になっていきますが、今後ともその優しい眼差しで足守地区を見守り続けていただきたいと切に願っております。

委員の皆様方のご健康と貴会のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

岡山市足守支所 地域振興主任 植月 康之

足守地区愛育委員会の発足 55 周年、誠におめでとうございます。

私は足守支所の環境担当として、微力ながら、皆様の活動をお手伝いさせていただきましたが、最初の総会の時に、女性ばかり 100 名を超える委員の皆様のパワーを前に、ただただ圧倒されたことを覚えております。

市内の他の地域を見ましても、愛育委員と環境委員を兼ねていらっしゃる地域はありませんが、愛育委員は心と体の健康を守り、環境委員は地球の健康を護るという役目があり、2 つの役割を兼ねて活動されることは、すばらしい発想と思います。今後とも、足守地域の人と環境を守るため、委員の皆様のみならずのご活躍と貴会のご発展を心からお祈り申し上げます。

岡山市保健所東保健センター 保健師 小野 克美

私は、足守地区を保健所移管前後の計 7 年間担当させていただきました。最初は、足守支所に配属で、地域の様子がまったくわからない所で、保健師一人ということで不安もあり、ご迷惑もかけたと思いますが、愛育委員さんをはじめ地域の方々と身近に接していただき、楽しく過ごさせていただきました。また、私自身は子どもの成長とともに過ごした時期でもありました。縁あって再度 2 年間担当させていただいたこともあり、第 2 のふるさとのようにも感じています。7 年間、いろいろと勉強する機会に恵まれ感謝しています。

今後の、益々のご発展をお祈り申し上げます。

岡山市西地域包括支援センター長 岡崎 久美子
(前岡山市保健所北保健センター保健師)

この度、足守地域愛育委員会の 55 周年を迎えられ記念誌が発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。また、歴代の委員の皆様のとゆまない熱意とご努力に、心から敬意を表します。

足守地域は少子高齢化がすすみ、市の北西部で面積も広く山の多い地形のため委員の皆様は活動するにあたり大変なご苦労があったことと思われませんが、きめ細やかな声かけ訪問や地区の状況に合わせた健康づくり運動、『健康市民おかやま 21』の推進など地域に根ざした活動をすすめるなど、地域の健康づくりにおいて大きな役割を担っていただいております。

地域の方々からも『健康で安心して暮らせる地域づくり』を目指して、地域に根ざした活動を期待しております。

足守地域愛育委員会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。